

## 2020 年度事業報告

### 1. 重点方針の実施状況

本年度は、マネジメント業界の共同体（連盟）として存在感をより高めるため、引き続き既存事業の選択と集中をさらに進めるとともに、経済産業省をはじめとする関係省庁とのパイプを太くして密接な協力関係を構築していくように努めた。

- (1) 経済産業省をはじめとする関係省庁とのパイプを太くして、密接な協力関係を構築し、コンサルティング業界やマネジメント団体の声として、行政に対して意見を述べる役割を担っていく。

\* 全能連マネジメント・アワード開催を軸に関係再構築を意図するが、産業界全体の混乱および各省庁の対応業務激化により十分な対応できず。但し実現できなかったものの、「コロナ環境下での政府の期待」のテーマで講演依頼を快諾いただいていたことから、2021年度活動に向けて、省庁との関係強化の足掛かりとして継続していきたい。

- (2) 『全国能率大会』に代わる全能連の中核事業として『全能連マネジメント・アワード』を開催し、会員団体・「MC（マネジメント・コンサルタント）」／「MI（マネジメント・インストラクター）」など全能連資格認定者をはじめ、わが国の経営コンサルタントや研修講師、学者・研究者などマネジメント関係者に広く参加を呼びかけるとともに、優れた諸活動を表彰し積極的に発信する。併せて全能連の知名度向上を図り、MC/MIの新規申請増加につなげる。

\* 緊急事態宣言発出などにより初動プロモーションに多大な影響がありながらも開催できた。今回の反省点などを踏まえ、次回以降につなげたい。

\* MC/MI今年度申請者に対しては救済策を講じて案内。結果として救済策適用者5名があった一方、資格認定継続を断念するMC/MIも多数出る結果となった。オンライン化などが進む時期ゆえの資格取得の重要性などを引続き訴求していく。

- (3) 会員団体・MC/MIなど全能連資格認定者を対象に、時代に即したテーマの情報提供を行う一環として、本年度はAIに関する研究会を開催し、参加者の自己研鑽と知識の横展開を図る。

\* AIに関する研究会は基調講演会を時期延期の上、リモートでの開催とした。以降の集合研究会ができず、継続を断念。21年度以降、「時代に即したテーマの情報提供」を理念とし、加えて「時代に即した」情報提供の方法（オンライン・オンデマンド等）を模索し、提供していくこととする。

## 2. 2020年度事業の総括

- 第1回目の「全能連マネジメント・アワード」を開催した。新型コロナウイルス感染症拡大影響により、初動に多大な影響を受け、発表形式である二次審査のオンライン化などにより大賞および各賞を選出し、全能連ウェブサイト上で掲載した。
- 主要事業であるMC/MI認定事業について、新型コロナウイルス感染拡大による事業機会の逸失などの影響により減少傾向が続く。次年度の救済措置の必要性について、新型コロナウイルス感染による影響や、社会・経済動静を引き続き注視し、実施有無を判断する。
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う各種政策等により、当連盟が受ける影響を予測し、MC/MI新規申請における救済策を展開、認証資格オンライン化に伴う申請手続きの簡素化など臨機応変な対応を行った。
- 期末時点での会員数は39団体である。(退会3団体)
- 2020年度決算を当初予算通りに遂行し、さらに重点施策の一つと定める全能連マネジメント・アワードの安定的運営を意図して特定費用準備資金を積み増すなど、資金活用を積極的に図った。

次頁以降、2020年度事業別活動報告を行う。

### 3. 事業別計画

#### 公1 経営・マネジメント支援等事業

##### (1) 全能連マネジメント・アワード事業

全国能率大会（経営・技術大会、優秀論文発表会）に代わり、「全能連マネジメント・アワード」を以下の通り開催した。

◇応募締切：2020年9月14日←当初の7月6日より延長

◇一次審査：2020年10月14日→優秀と認められるもの5編を選出

◇二次審査：2021年2月3日→オンラインによる発表、視聴参加形式で実施。

同日最終審査行い、以下受賞者を決定した。

##### ◆全能連マネジメント大賞

株式会社日本能率協会コンサルティング 毛利大氏

『「TAKUETSU PLANT Design Method」JMACスマートファクトリー構築の進め方』

##### ◆コンサルタント・オブ・ザ・イヤー

株式会社日本能率協会コンサルティング 大崎真奈美氏・星野誠氏

『広域自治体組織における組織開発の全面展開促進支援』

##### ◆アカデミック・フェロー・オブ・ザ・イヤー

日本ユニシス株式会社 上岡恵子氏

『事業活動を全体最適で企業価値に向かわせるKPI群の開発と有効性に関するケース研究  
—環境試験機製造E社の事例—』

##### ◆『アカデミック・フェロー・オブ・ザ・イヤー』

株式会社ライフワークス・法政大学大学院

岸田泰則氏・谷口ちさ氏・北川佳寿美氏・野村圭司氏

『シニア社員の役割創造モデルの構築』

##### ◆プログラム・イノベーター・オブ・ザ・イヤー

リクルートワークス研究所 中村天江氏

『社員の幸せとキャリアのためのトータルリワード“FESTimeリレーション”の提案』

※今回、インストラクター・オブ・ザ・イヤーおよび特別賞の該当者なし

##### (2) マネジメント関係資格称号認証・認定事業

###### 【資格称号認証事業】

\*資格認証・認定審査会を開催し、認証を審議した資格は以下のとおり。

・新規認証資格：ITプランニング・セールス他全3資格

(株式会社日本コンサルタントグループ)

ビジネス・プロセス革新エンジニア（一般社団法人 日本経営管理協会）

ヒューマン パフォーマンス マネジメント・プロフェッショナル

他全3資格（株式会社ビジネスコンサルタント）

・認証資格更新：認証番号133 巡回監査士補（TKC全国会）

・認証資格取下げ：認証番号135：リスク管理専門員（一般社団法人日本経営学会連合）他全3資格

●期末現在：57資格／17団体（前年：52資格／17団体）

### 【MC/MI認定事業】

- ・認定MC/MIへのメール配信で、更新CDP対象プログラム紹介や海外コンサルティングニュースなど有益な情報提供に努めた。
- ・認定は、例年どおり4月1日とし、認定者に対し認定証の交付及び官報公示を行い、認定されたMC/MIは全能連ホームページ上で広報した。
- ・2020年度限定のコロナ対応として申請要件救済策を実施、また恒久策としてMIリモート面接審査の実施、申請書類の押印廃止などの対応策を定めた。
  - 期末現在：MC 653名（前年：681名）、MI 49名（前年：63名）

### 【会員協同資格運営】

- ・会員協同により展開している全能連認定資格（ITPS、BPiE、HPMP）は、新たに全能連認証資格として2021年4月1日より運営することとなった。

## （3）マネジメント関係調査研究事業

### 【調査研究】

- ・国立研究開発法人 産業技術総合研究所 人工知能研究センター 首席研究員 本村陽一氏をコーディネーターとするAIの社会実装に関する研究会については、集合形式開催の困難さ、テーマ選定の見直しなどにより基調講演開催後、一旦中止とした。
  - ◇基調講演開催日：2020年9月24日（木）
  - ◇会 場：アルカディア市ヶ谷（東京都千代田区）およびオンライン

### 【海外との情報交流】

- ・国際組織ICMCIも多大なるコロナ影響を受け、オンラインによる総会開催（ハブ大会中止）、ウェブセミナーの開催となり、会員・認定者に対しては有益と考えられる情報を抽出してメール配信、ウェブサイト掲載、ならびにeBook編纂企画参加などを紹介した。

## （4）会員内事業

### 【会員交流の促進】

- ・社会環境に鑑み、集合形式による会員交流の場の提供は見送られた。

### 【会員の入会・退会】

- ・退会：一般社団法人日本マネジメント団体連合会（2020年3月31日付）  
（株）アタックス・ビジネス・コンサルティング（2020年6月1日付）  
JMA Consultants KOREA inc.（2020年6月2日付）
  - 期末現在会員数：39団体

## 収他1 顕彰者表彰事業

前年度と同様に、4月に募集を開始し9月に顕彰式を挙げるスケジュールで実施し、顕彰24名、表彰11名（前年30名、表彰13名）を顕彰した。

◇開催日：2020年9月24日（木）

◇会 場：アルカディア市ヶ谷（東京都千代田区）

以 上